

輸送動向について(平成19年度上半期分)

平成19年10月

1. 輸送概況

上半期は、7月16日に震度6強を記録した新潟県中越沖地震が発生し、信越線柿崎駅～柏崎駅間が59日間にわたり不通となった。この間、東海道・東北線経由の迂回列車の運転をはじめ、不通区間での利用運送事業者と連携したトラックによる代行輸送を実施し、輸送力を最大限確保した。なお、この地震による列車運休は、高速貨1,492本、専貨65本となった。また、7月以降、3度の台風上陸があった他、大雨等による輸送障害が各地で発生し、上半期全体では高速貨1,974本、専貨91本が運休した。

荷動きについては、輸送障害の影響を大きく受けた他、7月までの冷夏も一部影響し、低調に推移した。

コンテナ貨物では、政府米・民間流通米の出荷が好調であった農産品・青果物及び堅調な出荷が続く自動車部品などが前年を上回ったものの、一部品目で他輸送機関に轉移し減送となった食料工業品の他、輸送障害の影響を受けた化学薬品、紙・パルプ、積合せ貨物などが前年を大きく下回り、全体では前年比99.8%となった。

車扱貨物では、燃料転換などにより重油、灯油が大きく減送となった石油、一部区間で輸送終了となったセメントなど、すべての品目が前年を下回り、全体では前年比92.2%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	上半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	11,248	11,265	99.8%
車扱	5,687	6,170	92.2%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	1,023	939	84	108.9%
	化学工業品	1,098	1,096	2	100.2%
	化学薬品	801	838	-37	95.6%
	食料工業品	1,723	1,740	-17	99.0%
	紙・パルプ	1,853	1,888	-35	98.1%
	他工業品	832	803	29	103.6%
	積合せ貨物	1,209	1,261	-52	95.9%
	自動車部品	367	330	37	111.2%
	家電・情報機器	195	194	1	100.5%
	エコ関連物資	178	211	-33	84.4%
	その他	1,970	1,961	9	100.5%
	コンテナ計	11,248	11,265	-17	99.8%
車扱	石油	3,519	3,833	-314	91.8%
	セメント	334	409	-75	81.7%
	石灰石	384	393	-9	97.7%
	車両	647	682	-35	94.8%
	その他	804	854	-50	94.2%
	車扱計	5,687	6,170	-483	92.2%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)